



チューモくん日記 #アプリの話～言う吉くん～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

このシリーズでは、本校職員から聞いたスマホアプリの話を紹介していきます。

今回は、お札を判別するアプリについてムサカさん（仮名）から聞きました。

**ムサカ**：7月から新紙幣が発行されていますが、チューモくんは、もう手に入れましたか？

**チューモくん**：キャッシュレスで支払う場面が多くなって、なかなか出合えませんでした。最近、ATMでお金を下ろしたら出てきました。でも、まだ新紙幣に対応していない自動販売機も多いようですね。

**ムサカ**：ところで、視覚障害者が、新紙幣を見分けるにはどうしたらいいか知っていますか？

**チューモくん**：それは、聞いたことがあります。

触って分かる識別マークが、以前よりも広い面積になって、お札によって位置が違うんですね。

**ムサカ**：そうですね。新一万円券は左右の短辺の中央、新五千円券は上下の長辺の中央、新千円券は右上と左下に斜線が並んだマークがあります。また、二千円券は右下に点字の「に」の形で○が三つ並んでいます。

**チューモくん**：つるつるしているホログラムの位置もお札によって違うので、手がかりになりそうですね。

**ムサカ**：そうですね。ところで、お札の種類を見分けるアプリがあるのは知っていますか？

**チューモくん**：僕はスマホに、「SeeingAI」を入れていますけれど、あれにもお金を識別する機能がありましたよね。

**ムサカ**：そうなのですが、試してみたところ、「Seeing AI」は、まだ、新紙幣には対応していませんでした。(2024年8月5日現在)  
でも、国立印刷局が配信している「言う吉くん」というアプリは、早速、新紙幣に対応していましたよ。

**チューモくん**：さすが、お札を印刷しているところは対応が早いですね。

**ムサカ**：「言う吉くん」は、お札にiPhoneのカメラをかざすと、金額が画面に表示されると同時に音声で読み上げてくれます。お札が横に置かれていても、縦に置かれていても、表でも裏でも判別してくれるので、使いやすいアプリだと思います。

**チューモくん**：なるほど、今度試してみますね。  
なんだか、早く新紙幣を手に入れたいと思えてきました。

「言う吉くん」は、国立印刷局が、目の不自由な方のために、2014年から無料配信しているiPhone用のお札識別アプリです。

お札にiPhoneのカメラをかざすと、画面に「〇円」の文字が表示され、音声でも読み上げてくれます。お札の向きは縦でも横でも、裏でも表でも判別します。

2024年4月には、これまでの一万円券、五千円券、二千円券、千円券に加え、7月発行の新しい、一万円券、五千円券、千円券も識別できるようにバージョンアップしました。

